

| | | | |
|------|--------------------------------|------------|-----|
| 活動分野 | 森に親しむ講座 | | |
| タイトル | 日本列島の形成～その3 地質・地形・気候が織りなす日本の自然 | | |
| 実施日時 | 2019年11月6日(水) 9時30分～11時30分 | | |
| 実施場所 | 千葉市民会館 | | |
| 受講者 | 27名 | FIC会員他スタッフ | 14名 |

活動の内容

1. 自然を形成する要素としての気候

自然を形成する要素としては、「地質」「地形」「気候」「動植物」が挙げられます。気候は浸食・風化・堆積作用を通じて地球の表面を細かく切ったり盛ったり、ヤスリをかけるような作用で地形を形成します。

2. 気候変動の歴史と原因

地球の気候は大きく変動してきました。世界中の大陸に氷床が全くない温暖な時期が多かったのですが、地球全体が氷にすっぽりと覆われてしまった「スノーボールアース」状態になったこともあります。第四紀は地球が寒冷化して大陸に氷河が発達している時代です。気候変動を起こす要因は、大気中の温暖化ガスの濃度、大陸や高山の配置、海流の流れ方、太陽日射量の変化などが有ります。人類活動は温暖化ガス濃度に強く影響して気候変動を引き起こしつつあります。

3. 氷河期と海面水準の変化

氷河期は海面水準が120mくらい低下していました。海面水準の変化は平野やリアス式海岸など地形形成に大きく影響します。南極とグリーンランドの氷が全て溶けたら、計算上海面は80m程度上昇します。この面からみても気候変動は人類に多大な影響を与えます。



Google Flood Map(海面 60m上昇)

4. 植生に影響を与える要因

気候(温度、雨量、日射、風など)は植生を決める大きな要素です。氷河期と現在の植生は大きく異なっています。日本の気候は地域差が大きく植生もそれに応じて大きく異なります。

5. 国立公園、世界自然遺産、世界ジオパーク

日本の国立公園は34箇所、国土の5.8%を占めます。火山や海岸・海洋に関係する場所が多くなっています。世界自然遺産は4箇所、景観だけでなく生態系や生物多様性という視点が加わっています。ジオパークとは大地の公園を意味し、地球を学びながら丸ごと楽しむ場所として設定されています。



6. 写真：日本の自然

